

幼稚園

企画課管理用 教 一 A 一 1

推進主体	幼稚園
責任者	幼稚園長

分類			実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
教	一	A	幼稚園アーカイブズの再確認	令和 4 年度	令和 8 年度	あり(予定)

① 目的・内容

学習院幼稚園は、明治27年の創立から戦後の一旦廃園までの51年と、昭和38年の再開園から58年の合わせて100年以上の歴史がある。歴史と伝統を大切に守り、現場の教育活動に活かしさらに次世代の教員に正しく繋いでいくために、教員が様々な角度から歴史を振り返る機会を設けていく。学習院アーカイブズの協力を得ながら、資料に触れたり、講話を聴く機会を設け、歴史への学びを掘り下げていくことで学習院幼稚園の歩んできた教育を正しく理解し、現場の教育活動につなげていきたい。更に、旧教員との交流の機会を持ち、特に若い教員が幼稚園の教育の本質を学ぶ機会となるようにしていきたい。

倉庫には歴史ある古い備品がまだ残っており、修復すればまた息を吹き返すものもたくさんある。それらを整備し、可能な限り現代に使用できるよう修復に努めたい。園児が過ごす幼稚園生活の環境として、永く大切に使用されてきた備品に囲まれることは、先々物や人を大切にする気持ちや、本物を見抜く力の一助になることと考える。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

再開園当時から使用していた振り子時計やひな人形等、昔から大切にされてきたものを整備修繕し、園児が生活する場としての環境を整える。

毎年年度初めに歴史的資料や学習院アーカイブズ職員の講話を聴く機会や、旧教員との交流を通して 歴史を振り返り学ぶ機会を設ける。

③ ロードマップ

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定		歴史の振り返り					
		備品の整備と再利用					

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

(様式2) 実施計画書 兼 報告書

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告/今後の課題
令和4年度 (2022年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習院アーカイブズ職員の講話を聴く機会を設け、再開園以前の華族女学校幼稚園時代の実際の幼稚園の歴史的資料(写真を含む)から、幼稚園の歴史を振り返り学ぶ。 ・旧教員と懇談する場を設け、再開園後の幼稚園の様子や教育について話を聴き、歴史や伝統を踏まえて、実際の保育にどのように結び付けていくかを考える。 ・倉庫内の古い備品の修復と再利用の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習院アーカイブズ職員による園内研修「資料で見る学習院幼稚園の歴史」は、幼稚園の歴史を知る上でとても貴重な機会であった。 ・たくさんの興味深い昔の資料を読み込むこと、そこから現代の保育に生かせることを見つけ、生かしていくことが今後の課題である。 ・旧教員との懇談も実施でき、再開園当初から現代までの保育の流れや、変化してきたこと、変わらず受け継いでつなげていかなければならないことを、再認識した。懇談は、教員が入れ替わる度に継続していきたい。
令和5年度 (2023年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の学習院アーカイブズ職員の講話を元に、再開園以前の華族女学校幼稚園時代の実際の歴史的資料(写真を含む)を再び読み解き、幼稚園の歴史を振り返り学ぶ。 ・年度初めに旧教員と懇談する場を設け、再開園後の幼稚園の様子や教育についての話を聴き、歴史や伝統を踏まえて、実際の保育にどのように結び付けていくかを考える。 ・倉庫内の古い備品の整理を行い、再利用について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前の日常に戻ったことにより、行事等の計画準備にかなりの時間を要したため、計画していた幼稚園の歴史を振り返り学ぶことや、旧教員との懇談の場を設ける時間をとることができなかった。 ・倉庫内や園長室、教員室の整理整頓をする中で、昔の資料を読み解く機会があり、当時の幼稚園の生活に思いを馳せたり、現在につながっている歴史を改めて感じとるいい機会を得ることができた。
令和6年度 (2024年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・旧教員と懇談する場を今年こそは設ける計画をし、長い間受け継がれてきた幼稚園の伝統の教育の中心となることを、教員皆でしっかり学び、日常の保育全般、そして園児一人一人に丁寧に落とし込んでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月に旧教員による父母講座「幼児期に大切なこと」を実施。その録画映像を教員全員で聴講し、幼稚園に受け継がれる子ども観を知ることや幼児を導く大人として必要とされる価値観について学んだ。 ・同日、旧教員との懇談も実施でき、幼児教育の専門家として志を高く持ち研鑽に励む心構えを学んだ。 ・昨年度に引き続き倉庫内の資料や備品の整理をする中で再開園当初の運動会などの行事資料が見つかった。運動会のプログラムからは現在の競技と変わらない演目があり、継承すべき保育内容についての確認もできた。
令和7年度 (2025年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度に整理された幼稚園の保存資料について学習院アーカイブズの職員より説明をうける機会を検討する。再開園直後の行事や保育の内容を知ることを受け継がれるべき伝統についての理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、学習院アーカイブスのアーキビストによる園長室保存、事務室保存の資料の整理を依頼した。貴重な資料については、アーカイブスでの適切な保存、内容の精査を依頼した。 ・保育の資料としては、再開園当時から現在までの運動会のプログラムや記念手ぬぐいの適切な整理・保管を行った。資料は今後の運動会の計画に生かしていくこととなる貴重な資料であると同時に、幼稚園桜友会創設10周年に披露し、卒業生との繋がりを深めることとなった。
令和8年度 (2026年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年から4年間にわたり行ってきた、幼稚園所蔵レコード、ビデオのデジタル化の最終年度を迎える。保育記録を後世に継承するためデジタル化が完了することで、現職教員が行事の際に手軽に過去の映像、音源を確認することが可能になる。時代に流されない幼児の感性に働きかける音源については、園児の日常の情操教育に欠かせないものであり有効活用する。 	